



2010-2011 RI President
Klinginsmith Ray



2010-2011 D.2640 Governor
Mariko Yoneda

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Main Contents

RI 会長メッセージ / ガバナーメッセージ

ロータリー財団の過渡期

ロータリー財団部門 特別顧問・PDG 中島 治一郎

「ロータリー財団未来の夢計画」への期待

ロータリー財団部門 カウンセラー・PDG 三軒 久義

ロータリー財団寄付金のお話

ロータリー財団委員会委員長 岩本 行弘

国際親善奨学金について

財団奨学金小委員会委員長 中野 均

財団研究グループ交換活動について

財団研究グループ交換小委員会委員長 中川 優

財団学友との交流を続けましょう！

財団学友小委員会委員長 高寺 壽

2010-2011

11

NO.5

アフリカ支援

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、
1961年、私はロータリーの親善奨学生としてケープタウン大学で学んでいました。その地で暮らした期間に、南アフリカはもちろん、現在、ジンバブエ、ザンビア、ナミビアとなっている国々へ、16,000マイル(約2,600 km)の旅をしました。35のロータリークラブを訪ね、数え切れないほどのロータリアンに会い、私は南部アフリカの豊かな文化に夢中になりました。

奨学生としての経験をアフリカのために

初めて訪れたとき、私はアフリカの伝統や人々の生活における挑戦に関して真価を認めるようになり、この地と人々に対する私の敬意と賞賛の気持ちが、ロータリアンとなってからも幾度となく私をアフリカに呼び戻しました。そして今、これは驚くべきことですが、私のロータリー奨学生としての経験をアフリカにおけるロータリーの役割強化のために使うという特別の機会をもつことになったのです! 本年度は「アフリカ支援委員会(ROTA=Reach Out to Africa)」が始まって4年になります。そして今年度のROTA委員会は、より早く効率的に目標を達成するために手際よく活動しています。私たちはアフリカのロータリアンの数を増やす必要があります! また、私はアフリカに対する国際奉仕プロジェクト、特にロータリー財団の支援を得たプロジェクトの実質的な増加を期待しています。ROTA委員会はすばらしいウェブサイトをもっていますので、皆さんが <http://www.reachouttoafrica.org> を開いてご覧になることをお勧めします。

ロータリー財団の産物であることを誇りに思う

私は今年度、ロータリアンたちが気軽にアフリカを訪れ、彼らの国際奉仕プロジェクト参加を増やすための二つの奉仕活動を導入しました。一つは「Ray's Rotary Reunions(レイのロータリー同窓会)」で2月3~5日にケープタウンで開催されます。一人でも多くのロータリアンがこのイベントのために、最も汚れなき岬にあるケープタウンに集まってくださることを期待しています。もう一つは、「Rotary Project Safaris(ロータリー・プロジェクト・サファリ)」です。貧困が

広がり、地元のロータリアンたちが財政援助を必要とする数多くの有益なプロジェクトを開発している地域に、ロータリアンたちの訪問を容易にする奉仕活動です。この二つの催しに関するより詳しい情報は「RI会長のページ」<http://www.rotary.org/ja/president> に出ています。ご質問があれば elsa.sanabria@rotary.org にご連絡ください。

私は、自分がロータリー財団の産物であることに誇りをもっています。そして、もし私がアフリカにおけるロータリー強化の懸け橋役を務めることができるなら、それはRI会長としてのもっとも意義のある業績となるでしょう!「レイのロータリー同窓会」と「ロータリー・プロジェクト・サファリ」に参集ください。アフリカのロータリーを「より大きく、豊かで、大胆に」するために、そしてアフリカのロータリー財団奨学生の輪をつくり上げるため、私に力を貸してください。



レイ・クリンギンスミス
2010-2011年度 国際ロータリー会長





2010-2011年度 ガバナー

米田 真理子

Mariko Yoneda

GOVERNOR MESSAGE

世界と地域のニーズに沿って 高い理念に基づいた実行力を

謹啓 晩秋の候 朝夕の冷たい風、秋晴れの空にほっとする日々、会長幹事殿には、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

10月21日に公式訪問を72クラブ終えて、堺の13ロータリークラブが親睦を深めるための交流会にて、公式訪問打ち上げ会を行いました。

すべて予定通りに72クラブの公式訪問を終えましたこと、ガバナー補佐の皆様、会長・幹事の皆様方の温かいご協力のお陰と心より御礼申し上げます。

さて、堺IM8組に新しいロータリークラブが誕生いたしました。

堺フェニックスロータリークラブ(会長 片木 修)をスポンサークラブとする、山田 義夫様(堺RC)をガバナー特別代表として、堺フラワーロータリークラブ(会長 堀本 欣吾)が、10月14日(10月18日通知)RI加盟認証され、地区内73番目のク

ラブとして誕生しました。本年4月に和歌山サンライズロータリークラブに引き続き、モーニングクラブの誕生です。新しいクラブの誕生の嬉しいお知らせを、まずもってご報告いたします。RI加盟認証状伝達式は12月15日の予定です。

11月は「ロータリー財団月間」であります。1917年6月アトランタで開催された国際大会で国際ロータリー連合会会長アーチC.クランプは、国際ロータリー連合会に「国際理解と親善増進のための基金」を設立することを提案しました。彼はこのように言っています。「ロータリークラブも、ロータリアンも、ロータリーとその目的、その目標、その理想について明らかに知識不足がある。現在の管理当局はこの問題に真剣に取り組んだ結果、啓蒙活動が必要だ。この問題は主としてクラブ会長の手にある。国際理事会がいかに努力しようとクラブ会長が有益な提案を実行しないならばすべて徒労に帰するのだ。」と。

ロータリー運動が興って12年、連合組織が形成されて8年
余り、ロータリー運動の奉仕の実践に当たり、ロータリアンと
してなすべきことは何か。個人奉仕か、クラブによる団体奉
仕か。個人奉仕の場合は限界があるのか、団体奉仕はどう
なのか。そのなかで国際ロータリーの連合会をつくったのは、
ロータリークラブであり、したがって連合会にお金を集める
権限もなく、ただある権限は奉仕の理想の提唱・ロータリー
の拡大・情報の媒体だけでありました。このままではクラブ
会長の意図は否決すると考えたカンサスシティのロータリア
ンたちが、ししぶ集めたお金、これが、後のロータリー財団
の初めての基金となるわけでありました。その過程は長くなり
ますので省きますが、国際奉仕的な活動については当時、
戦争という異常な事態におけるなかで、優れた知性と情熱
を持ったロータリアンの議論で闘われました。そしてその結
果生まれた 1923年の「決議23-34号」は、ロータリーの
〔般若心経〕といわれるようになりました。

さてこの間、数々の世界戦争を経て 1947年1月27日ボ
ールハリスはこの世を去ります。この偉大な創始者の遺志を
受け継ぐことは何か?それはロータリー運動の国際化、若者
たちへの奨学事業であり、そこからロータリーの国際奉仕に
おけるロータリー財団の存在意義が認識されるようになりました。

ロータリー財団は国際奉仕の実践のためのひとつのツ
ールであり、財団への寄付は強制的なものではなく、人頭分担金
や会費に準じるものでは決してなく、善意の寄付の集まり
であります。公式訪問でお願いしたとおりでありまして、決し
て強制的な寄付ではありません。

今日、とても良いことがあったから、世界中の人にこの喜
びを分かちあいたい。自然にポケットから出てくるお金が、世
界の子どもたちの飢餓、疾病、教育の改善に繋がり、人類の
ために良いことをすることができるのです。

「ロータリー財団」月間を機会に ロータリー財団のことをよ
り多く知っていただき、ご理解いただきたいと心よりお願い申
し上げます。

国際ロータリー会長ノミニ

(2012-2013年度国際ロータリー会長)と。



大阪2660地区DG夫妻とのスナップ



ロータリー財団の過渡期

国際ロータリー第2640地区 ロータリー財団部門
特別顧問・PDG 中島 治一郎




ロータリー財団を推進する為に1989年度から、地域コーディネーター制度が設けられ、私は初年度からの3年間、日本のロータリアンとロータリー財団管理委員との間のコーディネーターを勤めさせて頂きました。それを終えてからの3年間は、ロータリー財団管理委員会のトラスティーを3年間勤めました。その都合6年間で、日本のロータリーの皆様方にお話し致しました要点は:(1)「ロータリー財団への寄付は強制してはならない。」、(2)「ロータリー財団においては、『先ずプロジェクト在りき』で、決して『先ず寄付在りき』では無い。」、そして「国際的なプロジェクトと取り組む為には、資金が必要であり、その資金は皆で出し合う寄付で賄う。ロータリー財団は、種々のプロジェクトを提案し、それに取り組むための必要資金を出し合い、使用する。私達ロータリアンにとってロータリー財団は、国際奉仕を実行する為のツール(道具)である。「ロータリー財団は、誰のものでも無い、私たちロータリアンのものである。」

今、2013-14年度から実施されると言う『ロータリー財団の未来の夢計画』で解説されているロータリー財団は、かなり様相を異にする気がしてならない。(1)「ロータリー財団は、国際奉仕の為の私達ロータリアンの道具である。」であったのに、「ロータリー財団の資金用途は、海外のプロジェクトでも、国内でも、地域社会でも構わない。」【発展途上国では、地域社会においてプロジェクトがより多く存在するから、それで良いが、日本のような国では、はっきり国際奉仕を区別して考えないと、国際奉仕活動は縮小する。】、(2)「ロータリー財団管理委員会に使用を委ねる資金が50%、自分達の地区で用途を決められる資金が残りの50%」であったのに、「自分達の地区で決められるのは、ほぼ25%になってしまう可能性が強い。」【日本では目下、奨学生の数が増減している。内向き現象が起こっている。ロータリー財団国際親善奨学生制度は、内でも外でもカウンセラーが就き、勉学と同時に国際親善に尽くし、ロータリー哲学を学び、グローバルな視野で物を見、考える機会を与えられる。

が、ロータリー財団国際親善奨学生が縮小される傾向が強い。】(3)『国際的プロジェクトを遂行する為に資金集めをする財団』であったのに『世界有数の財団』を志向している趣が強い。【国際的プロジェクトの為に寄付を出し合って、結果として、世界有数の財団になったのなら誇るべきことだが、『世界有数の財団』を志向しているとすれば、その為に寄付をロータリアンにお願いすることは憚れる。】

この変化は何に起因するか? 「ロータリーとは、一体何なのか?」の答えが国際的に見て確立されて居らず、コンセンサスも成立していない事に在ると思う。今、アメリカのロータリアンに「ロータリーって一体何なのか?」と尋ねると、ほぼ100%の方が、「奉仕団体だ。」と答える。日本でも、そう答えるロータリアンが増えている。然し、そこに『人造り』と言う視点が重視されていないと、存在価値が、比べ物にならない程低下する。奉仕することによって先ず自分を造る努力をする。奉仕で得る感動は、自分の人間性を高め、良心を浄化し、視野を広める。そして周りに好循環を齎す。思い遣り普及の連鎖反応を起こして行くことが『ロータリー運動』の真髄である。私達の『綱領』にも、特に重要な私達の事業の根底に確りと『奉仕の理想』を据え、普及して行くことが謳われている。

ロータリーが誕生後、先ずメンバー間のフェロウシップを高め合ったことは至極有意義だったと思う。5年も経ずして、『無私』の概念が導入されて行った当時の米国ロータリーリーダー達の人間性、職業観、人生観、倫理観に大いに敬意を表するものである。それでも、誕生後15年も経ち、会員数が増えて行くと、ロータリーの有り方、奉仕の解釈、等に関してロータリーの組織が二分される危機に面した。そこで提案、採用されたのが『決議23-34』で、これの採用により、分裂は回避されたのである。この『決議23-34』こそがロータリー哲学の解説書であり、ロータリーの有り方を示している。『ロータリーの友』2010年9月号で、この決議に関してのRI理事会での議論が掲載されているが、大いに議論して、もう一度、「ロータリーとは一体何か?」、「ロータリークラブは如何在るべきか?」、「RIとロータリークラブの関係は?」、等々に関して有る程度のコンセンサスを醸成すべきである。



ロータリー財団月間によせて
「ロータリー財団
未来の夢計画」
への期待

国際ロータリー第2640地区
ロータリー財団部門
カウンセラー 三軒久義

11月は「ロータリー財団月間」です。例年なら財団を理解して頂き、寄付をお願いし、プログラムへの参加を要請するところですが、本年度に寄付して頂いた資金は3年後の新しい「未来計画」に則ったプログラムに使用されることになります。当地区では未だ新しい「使用計画」を検討しておりませんので、皆さんに「こんな国際奉仕をしたいので財団に寄付して下さい」と言うことが出来ません。財団への寄付はそのプログラムに賛同し、その成果に感動を覚えて、浄財を寄付するのが本来の趣旨ですから、今年度は寄付のお願いが難しいかと思えます。

「世界でよいことをしよう(Doing Good in the World)」をモットーとして1917年に出来たロータリー財団は、幾多の変遷を経て今のプログラムになりましたが、3年後には抜本的な改変がなされ、Future Vision plan(未来の夢計画)としての新しいプログラムとなります。我々は少なくとも2年ぐらいの間に当地区でのD D F の使い道を含めたプログラムを考えておかねばなりません。

当地区が力を入れている従来の国際親善奨学生は今年度が最後の募集となります。次年度からも奨学金として使うことが決まれば、どんな形で募集をするか考えなければなりません。今の制度の良いところを残して新しい奨学金制度をつくり上げる必要があります。今の奨学制度で募集して、重点分野の専攻学生をグローバル補助金で、その他を新地区補助金でまかなうのが良いと私は考えています。

次にG S E が「職業研修チーム」と衣替えするのは良いことだと思います。ただ「重点分野」でなければグローバル補助金から費用が出ないので、重点分野以外のチームの費用を新地区補助金から出せるのが問題です。

当地区では今まで「マッチング・グラント」が低調でしたが、これからは手続きも簡素化され、実施しやすくなることが期待され、当地区でも多くのクラブがマッチング・グラントを申請して頂きたいものです。

この「未来の夢計画」の目指す「プログラムと運営の簡素化」は、世界的な経済状況の低迷で財団運営経費の削減のために、職員特にコーディネーターなどを減らす必要性があるということで止むを得ないのでしょう。そして地区にプログラム実施の決定権を移譲することにより、自由度が増し、財団をより身近に感ずることが出来るメリットも確かにあると思います。

ただ「ポリオ」のような大きな奉仕活動を進め易くすることも隠されているようですし、国際奉仕以外に地元の奉仕プロジェクトを実施することを目的とした新地区補助金の考え方には違和感を覚えます。

いずれにしても、我々ロータリー財団担当者は、当地区のロータリアンの意見を充分くみ上げて、新しい「未来の夢計画」を考えてゆかねばならない重大な使命があると責任の重さを感じるとともに、3年後の夢計画に期待したいと存じます。



ロータリー財団寄付金のお話

国際ロータリー第2640地区
ロータリー財団委員会委員長 岩本行弘

平素はロータリー財団に格別なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ロータリー財団月間にあたり、今回は寄付金について少し述べさせていただきます。

会員の皆様方からご協力いただきました貴重な寄付金は、どのように活用されているのでしょうか。まず、寄付金の種類ですが、①年次寄付 ②恒久基金 ③使途指定寄付の3種類に大別されます。年次寄付は、財団プログラムを継続して支援するために、毎年続けられる寄付のことを言います。「毎年あなたも100ドルを」というのは、この年次寄付100ドルを意味します。恒久基金は、元本には手をつけずに、将来に備えて積立てている寄付を指します。ロバート・バース元RI会長は「年次寄付は、毎日庭に水を撒き、花々に水分を供給するようなもので、恒久基金は、いつでも水が撒けるように、十分な水を用意している貯水池のようなものです」と述べています。使途指定寄付は、文字通り寄付する人が使途を指定する寄付を言います。例えば、ポリオ・プラスへの寄付などがあげられます。年次寄付は、3年間運用して、3年後に50%が地区財団活動資金(DDF)に、そして残りの50%は国際財団活動資金(WF)に配分されます。このようにDDFとWFに分けることをシェア・システムと呼んでおります。現在、2640地区ではDDFを国際親善奨学金に活用しております。財団研究グループ交換(GSE)の旅費やマッチング・グラントなどはWFから活用されております。

毎年「ロータリーの友」11月号に、「ロータリー財団最新情報」が掲載してありますが、その中の地区別寄付額一覧表に、日本全地区の年次寄付、使途指定寄付、恒久基金が載っていますので、参考にしてください。

以上のように、財団寄付には3種類の寄付があり、それぞれ違った目的を持っていて、寄付する人は自由に選ぶことができますことをご理解ください。

ロータリー財団 国際親善奨学金について



国際ロータリー第2640地区 財団奨学金小委員会
委員長 中野 均

平素は、ロータリー財団及び当委員会に対しご理解ご協力を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

国際親善奨学金は、ロータリー財団のプログラムとして1947年に発足以来、民間レベルとして世界最大規模の奨学制度です。志の高い奨学生を海外に送り出し、教育機関で勉学させることにより、異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与し、世界中良き思いの人々が繋がりを持つことにより、世界平和を実現しようと考えてきました。

当地区でも国際親善奨学生への応募状況は、年々減少の傾向にありますので、募集に関しまして、皆様方のご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。

① 海外派遣国際親善奨学生について

(1) 2010-2011年度 国際親善奨学生の派遣は7名です。

(2) 2011-2012年度 国際親善奨学生については、1学年度のみであり、地区選考試験には10名の応募があり、10名が合格しましたが、1名辞退され、現在9名でオリエンテーションを行っています。

(3) 2012-2013年度 国際親善奨学生の募集については、『2012-2013年度 ロータリー財団 国際親善奨学生募集ポスター』を2011年1月～2月頃に当地区内各クラブ会員、大学等に配布し、併せて当地区ホームページにより募集を行いますので、優秀な学生のご推薦をお願いします。

② 2010～2011年度、海外からの国際親善奨学生の受入はありません。

当地区から海外に行かれた奨学生の多くは、留学先でロータリアンはじめ多くの方々にご支援を頂き、とても充実した留学経験をされています。

国際親善奨学生のプログラムは、2012～2013年度の募集をもって最後となりますが、可能な限りで結構ですので、国際親善奨学金プログラムの趣旨をご理解賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



財団研究グループ交換活動について

国際ロータリー第2640地区 財団研究グループ交換小委員会
委員長 中川 優



ロータリー財団のプログラムとは

ロータリー財団のプログラムには皆様ご存じのように、次の3種類があります。それは、教育的プログラム、人道的プログラム、および、ポリオプログラムで2002年4月の管理委員会で決定され、現在も引き続き行われてきています。今回、活動報告する研究グループ交換プログラムは、国際親善奨学金プログラム、国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラムとともに、上記の教育的プログラムに属します。

研究グループ交換プログラムとは

この研究グループ交換プログラムは、歴史は古く1965年に発足したロータリー財団の国際交流プログラムです。25歳から40歳までの団員4人と経験豊かなロータリアンの団長1人がチームを構成し、2カ国間でGSEチームを交換し、互いの国の文化や職業について学ぶもので、1965-67年度は、34チームが参加し、2008-09年度には、558のGSEチームが参加するまでに発展してきました。我々のRI2640地区においても、前身のRI365地区では1966年度に初めてGSEを実施し、それ以来定期的に行っており国際親善、及び、両国の若者のモチベーション向上などに貢献してまいりました。



韓国RI3720地区からのGSE団長(中央)と団員達

RI2640地区の最近のGSE報告について

RI2640地区のホームページから下記の年度の研究グループ交換の素晴らしい様子を窺い知ることが出来ますので一度ご覧ください。

2009-10年度(村上ガバナー)は、RI7150地区(米国、ニューヨーク州北西部)、

2007-08年度(平原ガバナー)は、RI1150地区(英国、ウエールズ)、

2005-06年度(平尾ガバナー)は、RI6440地区(米国、シカゴ近郊)、

...

次に、紙面を借りて現在進行中のGSEについて報告します。

1. 今年は、韓国のRI3720地区とGSEを行っています。

2010-11年度(米田ガバナー)のホームページに、スケジュールなどを載せていますので、ご覧ください)

2. 10月23日～11月21日の間、IM偶数組でホームステイを受け、様々な職業研修や文化研修を計画しています。関係者の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

3. 11月6～7日の地区大会に参加し、発表します。

4. RI3720地区へのGSE派遣を現在計画中です。(10月中旬に公表予定)

クラブからの素晴らしい若者の推薦をよろしくお願ひします。

(ロータリアンの妻や子や孫は推薦できない。フルタイム雇用で2年間の職歴などの制約があります。各クラブの事務局にお問い合わせください)

財団学友との交流を続けましょう!

国際ロータリー第2640地区
ロータリー財団学友小委員会
委員長 高寺 壽

財団学友小委員会は財団学友会を支援・協力するのが主な活動です。財団学友会とは、元財団国際親善奨学生、元GSE(財団研究グループ交換)参加者により構成される組織で、財団国際親善奨学生並びにGSE団員は帰国後自動的に財団学友会会員となります。

財団学友は将来有望な人達であり、ロータリーの良き理解者でもあります。ロータリーにとっても学友にとっても、お互いの関係は大きな財産です。両者の事業交流や奉仕活動を末永く続けていきましょう。社会で活躍中の学友は、将来のロータリアン候補でもあります。

そこで、当委員会からのお願いがあります。

①推薦クラブ及びカウンセラーの皆様はお世話した学友との交流を積極的に続けて頂きたい。学友が帰国してからも末永くクラブでの行事や地区大会等に参加を促し、交流を保ちつつ温かく見守って頂きますようお願いいたします。

②学友の追跡調査にご協力ください。当地区では現在、約510名の学友(国際親善奨学生約400名・GSE約100名)がいます。しかしながら、現在地区や学友会で連絡がとれる学友は100名程度です。クラブで推薦された学友が転居等の場合、わかる範囲でガバナー事務所までお知らせください。

③財団月間に、学友をクラブ例会に招聘してください。毎年11月の財団月間には、各クラブより学友の卓話の要請が多数ございます。当委員会としましてもできる限りの斡旋・調整他を行いたいと思いますので、希望されるクラブは早めにお申し出ください。但し、財団月間中は要請が多く、学友の多くは職業人ですので、ご希望に添えないこともございますので、可能であれば他の月にして頂くと幸甚です。今年度は、最近帰国された学友に限らず、帰国後、社会で活躍中の学友にも卓話派遣を依頼しています。また、2013年からはじまるロータリー財団「未来の夢計画」により、補助金制度等が大幅に変わるため、地区の財団委員の卓話派遣も要請があれば手配をいたします。

2009年～2010年度国際ロータリー第2640地区

収 支 決 算 表

自2009年7月1日 ガバナー 村上 有司
至2010年6月30日 地区会計 津村 寛司

	収入の部	08-09決算額	09-10予算額	09-10決算額	差額
1	前年度繰越金	42,136,908	-	46,368,065	46,368,065
2	RI 交付金	2,237,207	2,600,000	2,007,109	-592,891
3	地区資金	30,771,000	31,200,000	29,484,000	-1,716,000
4	利子収入	448	-	26,373	26,373
5	会長エレクト勲強会・PETS・地区協議会剰余金	1,024,426	-	1,277,206	1,277,206
6	雑収入(米山繰越金他)	2,465,166	-	394,748	394,748
	合計	78,635,155	33,800,000	79,557,501	45,757,501

支出の部

①	委員会 経費	525,008	370,000	569,587	-199,587
1	諮問委員会	525,008	350,000	569,587	-219,587
2	ガバナー指名委員会	-	10,000	-	10,000
3	RI会長賞・意義ある業績賞選考委員会	-	10,000	-	10,000

クラブ主導

②	クラブ奉仕関連	211,458	255,000	794,218	-539,218
4	会員増強・退会防止委員会	74,580	85,000	274,215	-189,215
5	情報・規定委員長会議	53,869	85,000	68,880	16,120
6	雑誌・広報委員会	-9,575	-	424,481	-424,481
7	IT委員会	-	-	-	-
8	雑誌・広報、IT委員長会議	92,584	85,000	26,642	58,358
③	職業奉仕関連	288,088	85,000	83,675	1,325
9	職業奉仕委員会	288,088	85,000	83,675	1,325
④	社会奉仕関連	122,584	85,000	39,115	45,885
10	社会奉仕委員会	122,584	85,000	39,115	45,885
⑤	新世代関連	4,369,343	4,400,000	4,162,877	237,123
11	青少年・RYLA委員会	1,000,000	1,000,000	1,000,000	-
12	ローター・アクト委員会	1,700,000	1,700,000	1,700,000	-
13	インター・アクト委員会	1,669,343	1,700,000	1,462,877	237,123
⑥	国際奉仕関連	595,691	1,085,000	480,273	604,727
14	世界社会奉仕委員会	93,076	85,000	35,740	49,260
15	青少年交換委員会	502,615	1,000,000	444,533	555,467
16	オン・ツウ・バーミンガム委員会	-	-	-	-
⑦	ロータリー財団関連	1,611,469	1,700,000	1,397,250	302,750
17	財団奨学金委員会(・学友)	1,377,009	1,000,000	1,097,250	-97,250
18	財団研究グループ交換等委員会	234,460	700,000	300,000	400,000
⑧	米山関連	-	85,000	-	85,000
19	米山記念奨学委員会	-	85,000	-	85,000

地区主導

⑨	会議費	567,993	835,000	813,724	21,276
20	IM	-	50,000	-	50,000
21	地区チーム研修セミナー	189,480	200,000	526,805	-326,805
22	地区幹事会	35,410	200,000	5,650	194,350
23	ガバナー補佐 会議	216,010	300,000	238,935	61,065
24	会長会議	94,480	85,000	42,334	42,666
25	その他 会議費	32,613	-	-	-
⑩	ガバナー連絡会議(旅費)	1,797,900	2,000,000	1,645,000	355,000
⑪	各種補助、協力金	3,011,875	2,960,000	3,377,005	-417,005
26	ロータリー文庫協力金	470,800	480,000	672,000	-192,000
27	ガバナー会協力金	470,200	480,000	448,000	32,000
28	平和奨学生支援金	35,175	-	33,705	-33,705
29	GE 国際協議会参加補助金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	-
30	GE 国際大会参加補助金	800,000	500,000	500,000	-
31	規定審議会参加補助金	-	500,000	500,000	-
32	RIJYEC維持協力金	235,700	-	223,300	-223,300
⑫	直前ガバナー記念品	240,000	150,000	120,000	30,000
⑬	ガバナー月信	409,500	300,000	906,045	-606,045
⑭	HP作成費	1,942,500	1,400,000	1,784,685	-384,685
⑮	事務職員研修セミナー費	-	-	-	-
⑯	ガバナー事務所経費	15,570,993	18,000,000	14,168,427	3,831,573
⑰	事務所経費 予備	-28,367	90,000	-	90,000
⑱	雑費(米山繰越金返金、ジャパンナイト取消料)	1,031,055	-	-	-
⑲	新クラブ設立費(和歌山サンライズRC)			3,000,000	
	総計	32,267,090	33,800,000	33,341,881	458,119
	次年度繰越金	46,368,065	-	46,215,620	-46,215,620
	合計	78,635,155	33,800,000	79,557,501	-45,757,501

災害等非常時積立金

収入の部

前年度繰越金	7,989,587	
水害義援金	1,264,868	
地震義援金	649,803	
スマトラ沖地震義援金	1,237,121	
ハイチ地震災害義援金	1,011,655	
チリ地震災害義援金	1,001,672	
合計	13,154,706	

支出の部

水害義援金	1,264,868	D.2680へ送金
水害義援金(災害非常時積立金より)	5,132	
地震義援金	649,803	D.2620へ送金
地震義援金(災害非常時積立金より)	197	
スマトラ沖地震義援金	1,237,121	
ハイチ地震災害義援金(\$送金の為差額44円)	1,011,611	
チリ地震災害義援金	1,001,672	
次年度繰越金	7,984,302	
合計	13,154,706	

世界社会奉仕ファンド

収入の部

前年度繰越金	20,130,863	
クラブ拠出金	3,349,500	2233名*1,500
利息	6,284	
合計	23,486,647	

支出の部

クラブへの補助金	3,826,002	
スマトラ沖地震義援金端数地区負担分	12,879	
海外視察地区補助金	289,504	
次年度へ繰越金	19,358,262	
合計	23,486,647	

新世代および国際交流ファンド

収入の部

繰越金	178,908	
クラブより拠出金	7,815,500	2233名*3500
青少年交換旅行代	862,700	高野山・広島等
合計	8,857,108	

支出の部

青少年短期学生補助金	90,000	
青少年長期学生補助金	4,500,000	
青少年交換旅行代	702,650	高野山・広島等
RAC助成金	800,000	
RAC全国研修会費用・海外研修助成金	1,000,000	
IAC助成金	880,000	
IAC海外研修助成金	0	インフルエンザの為中止
ROTEX関係費用	100,000	
次年度繰越金	784,458	
合計	8,857,108	

PETS・地区協議会会計報告

収入の部

会長エレクト勉強会・PETS・地区協議会登録料	6,120,000	
合計	6,120,000	

支出の部

PETS費用	811,420	
地区協議会費用	4,031,374	
次年度繰越金(地区資金口座へ)	1,277,206	
合計	6,120,000	

地区誌編集分担金

収入の部

前年度繰越金	6,215,689	
クラブ負担金	669,900	2233名*300
合計	6,885,589	

支出の部

次年度繰越金	6,885,589	
合計	6,885,589	

GSE特別分担金

収入の部

前年度繰越金	2,064,128	
クラブ負担金	893,200	2233名*400
地区資金より	300,000	
合計	3,257,328	

支出の部

事前会議代	6,054	
さよならパーティー代	286,820	
受け入れ費用	876,520	
名刺代(5名分)	14,175	
送り出しパンフレット代(200円*500枚)	105,000	
送り出し壮行会・お土産代	96,512	
報告書(送り出しデータ作成・受け入れ1500円*200冊)	378,350	
旅費キャンセル代(団員体調不慮の為)	58,015	
次年度繰越金	1,435,882	
合計	3,257,328	

ライラセミナー

収入の部

前年度繰越金	1,229,164	
クラブ負担金	2,247,000	2,247名*1,000
地区資金より	1,000,000	
合計	4,476,164	

支出の部

事前会議費	61,370	
会場関係費	651,000	
付帯経費	400,038	
プログラム関係	1,563,804	
次年度繰越金	1,799,952	
合計	4,476,164	

ジャパンナイト会計報告

収入の部

前年度繰越金	0	
参加登録料(54名*16,000)	864,000	
合計	864,000	

支出の部

ジャパンナイト宴会費	864,000	
次年度繰越金	0	
合計	864,000	

米山梅吉記念館への寄付

収入の部

前年度繰越金	0	
クラブ拠出金	134,200	
合計	134,200	

支出の部

米山梅吉記念館への寄付	134,200	
次年度繰越金	0	
合計	134,200	

社会奉仕エイズデー協力金(和歌山県分(IM1.2.3.4))

収入の部

繰越金	629,489	
世界エイズデー	-	インフルエンザの為中止
利息	118	
合計	629,607	

支出の部

世界エイズデー	-	インフルエンザの為中止
社会奉仕協力金へ振替	100,000	
次年度繰越金	529,607	
合計	629,607	

社会奉仕協力金

収入の部

前年度繰越金	1,389,898	
識字率向上運動	480,431	
宮崎口蹄疫被害義援金	1,456,682	
社会奉仕エイズデー協力金より	100,000	
合計	3,427,011	

支出の部

識字率向上運動	480,431	ユネスコへ
宮崎口蹄疫被害義援金	1,456,682	
次年度繰越金	1,489,898	
合計	3,427,011	

雑誌広報委員会費内訳

収入の部

前年度繰越金	0	
広報補助金	192,000	RIより
地区資金より	424,481	
合計	616,481	

支出の部

イーゼル(5,460*26)・ボード(3000*2)	175,432	
産経冊子(95.22円*4000部)	399,084	
ロータリー写真展看板他	41,965	
合計	616,481	

地区大会

収入の部

前年度繰越金	4,150,683	
クラブ負担金	23,495,000	
ゴルフ大会残金	36,654	
本会議登録料	275,000	
晩餐会登録料	3,815,000	
懇親会登録料	26,000	
お祝金等	90,000	
利子収入	5,652	
合計	31,893,989	

支出の部

明細は別紙参照	26,951,713	
次年度繰越金	4,942,276	
合計	31,893,989	

地区大会記念ゴルフ大会

収入の部

登録料	1,734,092	
合計	1,734,092	

支出の部

大会諸経費	1,697,438	
残金	36,654	地区大会へ
合計	1,734,092	

事務所経費内訳

人件費(退職金含む)	6,508,310	
福利厚生費(各種保険)	794,997	
印刷費	925,989	
事務用品費及び消耗品費	311,640	
通信費	739,181	
慶弔見舞金	795,000	
新聞図書費	20,160	
振込み手数料	133,053	
事務所借室料(警備保障代含む)	1,179,992	
ガバナー交通費	700,000	
レンタルサーバー費	141,330	
年次報告書	1,800,000	
事務所修繕費	118,775	
合計	14,168,427	

別紙の通り、地区会計報告を致します。

2010年10月5日

地区会計監査

三前 洋 

地区会計

津村 寛司 

地区代表幹事

吉田 透 

地区大会会計報告書

収入の部	金額	摘要
本会議登録料(2640地区会員)	23,495,000	@10,000×2,326+@5,000×47
本会議登録料(その他)	275,000	@10,000×11+@5,000×14
晩餐会登録料	3,815,000	@17,000×190+@15,000×39
記念ゴルフ大会残金受入	36,654	
エクスカーション登録料	26,000	
受取利息	5,652	
御祝い金	90,000	
前年度より繰越金	4,150,683	
収入計	31,893,989	
支出の部	金額	摘要
総務関係費	2,557,310	
人件費・事務費	1,565,100	事務局員給料他
郵送料・旅費	212,642	切手代、旅費他
印刷費	494,886	トナー他
諸雑費	284,682	ホームページ作成費他
会場関係費	13,152,488	
晩餐会	4,431,708	会場使用料他
本会議	2,243,210	会場使用料他
昼食弁当代	1,640,600	弁当、お茶他
大会記念品代	1,867,300	大会記念品代
会場設営費	1,604,965	テント、看板他
プログラム作成及資料費	1,364,705	プログラム印刷代他
企画費関係	2,965,965	
アトラクション	1,132,615	上田宗箇流家元他
講演費用	1,150,000	講演者報酬
来賓交通宿泊費	683,350	来賓交通宿泊費
エクスカーション関係	105,000	
バス代外	105,000	バス代他
記録費関係	4,870,950	
記念誌	4,135,950	記念誌作成費
DVD作成費	735,000	DVD作成費
記念事業費関係	3,300,000	
植林	3,300,000	森林組合他
次年度へ繰越金	4,942,276	
支出計	31,893,989	

2010年10月 7日

地区大会実行委員長

畑地 浩



副実行委員長

渡部 正義



大会幹事

廣本 喜亮



会計

植田 芳史



監査

三前 洋



勝野年度決算訂正について

2008年～2009年度国際ロータリー第2640地区

収支決算表

自2008年7月1日 ガバナー 勝野 露観

至2009年6月30日 地区会計 丹羽 哲昭

	収入の部	07-08決算額	08-09予算額	08-09決算額	差額
1	前年度繰越金	41,203,284	-	42,136,908	42,136,908
2	RI 交付金	2,396,943	2,600,000	2,237,207	-362,793
3	地区資金	32,067,750	32,500,000	30,771,000	-1,729,000
4	利子収入	119,859	-	448	448
5	会長エレクト勉強会・PETS・地区協議会剰余金	1,085,936	-	1,024,426	1,024,426
6	雑収入(米山繰越金他)	79,500	-	2,465,166	2,465,166
	合計	76,953,272	35,100,000	78,635,155	43,535,155

支出の部

①	委員会 経費	409,619	420,000	525,008	-105,008
1	諮問委員会	384,314	400,000	525,008	-125,008
2	ガバナー指名委員会	25,305	10,000	-	10,000
3	RI会長賞・意義ある業績賞選考委員会	-	10,000	-	10,000

クラブ主導

②	クラブ奉仕関連	938,283	340,000	211,456	128,544
4	会員増強・退会防止委員会	846,078	85,000	74,580	10,420
5	情報・規定委員長会議	13,230	85,000	53,869	31,131
6	雑誌・広報委員会	-	85,000	-9,577	94,577
7	IT委員会	-	85,000	-	85,000
8	雑誌・広報、IT委員長会議	78,975	-	92,584	-92,584
③	職業奉仕関連	392,960	85,000	288,088	-203,088
9	職業奉仕委員会	392,960	85,000	288,088	-203,088
④	社会奉仕関連	78,328	85,000	122,584	-37,584
10	社会奉仕委員会	78,328	85,000	122,584	-37,584
⑤	新世代関連	4,633,502	4,900,000	4,369,343	530,657
11	青少年・RYLA委員会	1,000,000	1,000,000	1,000,000	-
12	ローター・アクト委員会	1,700,000	1,700,000	1,700,000	-
13	インター・アクト委員会	1,933,502	2,200,000	1,669,343	530,657
⑥	国際奉仕関連	1,623,125	1,085,000	595,691	489,309
14	世界社会奉仕委員会	76,939	85,000	93,076	-8,076
15	青少年交換委員会	1,546,186	1,000,000	502,615	497,385
16	オン・ツウ・バーミンガム委員会	-	-	-	-
⑦	ロータリー財団関連	2,164,762	1,700,000	1,611,469	88,531
17	財団奨学金委員会(・学友)	1,164,762	1,000,000	1,377,009	-377,009
18	財団研究グループ交換等委員会	1,000,000	700,000	234,460	465,540
⑧	米山関連	-	200,000	-	200,000
19	米山記念奨学委員会	-	200,000	-	200,000

地区主導

⑨	会議費	1,049,747	760,000	567,993	192,007
20	IM	-	60,000	-	60,000
21	地区チーム研修セミナー	457,419	200,000	189,480	10,520
22	地区幹事会	114,804	200,000	35,410	164,590
23	ガバナー補佐 会議	266,723	300,000	216,010	83,990
24	会長会議	77,078	-	94,480	-94,480
25	その他 会議費	133,723	-	32,613	-32,613
⑩	ガバナー連絡会議（旅費）	2,315,000	1,950,000	1,797,900	152,100
⑪	各種補助、協力金	2,259,925	2,875,000	3,011,875	-136,875
26	ロータリー文庫協力金	733,950	825,000	470,800	354,200
27	ガバナー会協力金	489,300	550,000	470,200	79,800
28	平和奨学生支援金	36,675	-	35,175	-35,175
29	GE 国際協議会参加補助金	500,000	1,000,000	1,000,000	-
30	GE 国際大会参加補助金	500,000	500,000	800,000	-300,000
31	規定審議会参加補助金	-	-	-	-
32	RIJYEC維持協力金	-	-	235,700	-235,700
⑫	直前ガバナー記念品	240,000	120,000	240,000	-120,000
⑬	ガバナー月信	340,830	1,800,000	409,500	1,390,500
⑭	HP作成費	1,533,000		1,942,500	-1,942,500
⑮	事務職員研修セミナー費	235,959	-	-	-
⑯	ガバナー事務所経費	16,601,324	18,000,000	15,570,993	2,429,007
⑰	事務所経費 予備	-	780,000	-	780,000
⑰	雑費（米山繰越金返金、ジャパンナイト取消料）	-	-	1,031,055	-1,031,055
	総計	34,816,364	35,100,000	31,264,400	3,835,600
	次年度繰越金	42,136,908	-	47,370,755	-47,370,755
	合計	76,953,272	35,100,000	78,635,155	-43,535,155

雑誌・広報委員会 『-9,577』になっていますが、
次ページのファンドでは『-9,575』 差額『2円』転機ミス

総額『31,264,400』になっていますが

⑰雑費（米山繰越金返金、ジャパンナイト取消料）が計算されていませんでした。

『1,031,055』プラスし総額『32,295,455』になります。

その他、振込金額（繰越金）から逆算すると『-28,367』の差額が発生します。（どの部分かは不明）

その為、村上年度への繰越金は『46,368,065円』に訂正になります。



中元 耕一郎
なかもと こういちろう

所属クラブ：有田
職業分類：整形外科医
生年月日：1960年5月18日



上野山 栄作
うえのやま えいさく

所属クラブ：有田
職業分類：葬祭業
生年月日：1962年7月21日



古谷 恭子
ふるたに きょうこ

所属クラブ：御坊南
職業分類：飲食業
生年月日：1973年1月20日



釜野 典子
かまの のりこ

所属クラブ：泉大津
職業分類：管工事業
生年月日：1948年3月19日



西川 昭代
にしかわ あきよ

所属クラブ：大阪金剛
職業分類：保護司
生年月日：1934年9月12日



谷林 義幹
たにばやし よしもと

所属クラブ：堺
職業分類：国際ホテル
生年月日：1949年7月14日



泉谷 徹
いずたに とおる

所属クラブ：堺北
職業分類：スポーツ用品販売
生年月日：1957年7月27日



森 多起夫
もり たきお

所属クラブ：堺中
職業分類：飲食業（割烹）
生年月日：1967年6月14日



岡田 正一
おかだ まさかず

所属クラブ：堺フェニックス
職業分類：不動産（ビル経営）
生年月日：1940年9月4日



網田 隆次
あみた たかつぐ

所属クラブ：高石
職業分類：老人ホーム
生年月日：1968年4月15日



佐野 嘉春
さの よしはる

所属クラブ：和歌山
職業分類：ラジオ・テレビ放送
生年月日：1957年3月13日



今井 克己
いまい かつみ

所属クラブ：和歌山
職業分類：通運
生年月日：1957年4月8日



岩本 隆博
いわもと たかひろ

所属クラブ： 和歌山南
職業分類： 石油販売
生年月日： 1953年9月5日



江口 暢洋
えぐち のびひろ

所属クラブ： 和歌山南
職業分類： 保険薬局
生年月日： 1967年10月16日



藤本 秀之
ふじもと ひでゆき

所属クラブ： 和歌山南
職業分類： 舗装工事業
生年月日： 1957年6月10日



福島 伸一
ふくしま しんいち

所属クラブ： 関西国際空港
職業分類： 国際空港管理
生年月日： 1948年11月13日



昼馬 義宏
ひるま よしひろ

所属クラブ： 関西国際空港
職業分類： 税理士
生年月日： 1962年7月23日



北村 幸久
きたむら ゆきひさ

所属クラブ： 関西国際空港
職業分類： 損害保険
生年月日： 1951年5月22日



齋藤 秀行
さいとう ひでゆき

所属クラブ： 関西国際空港
職業分類： 電気供給
生年月日： 1957年1月14日



島田 知明
しまだ ともあき

所属クラブ： 関西国際空港
職業分類： 空港用地造成
生年月日： 1950年1月8日



高橋 克広
たかはし かつひろ

所属クラブ： 関西国際空港
職業分類： 税理士
生年月日： 1972年11月30日



曾和 宏之 様
(橋本RC)

2010年9月24日死去

在籍期間：8年1ヶ月
職業分類：損害保険

ポールハリスフェロー

1952年1月5日生

堺フラワーロータリークラブ

SAKAI FLOWER ROTARY CLUB

創立日 : 2010.10.14
チャーターメンバー : 21名
スポンサークラブ : 堺フェニックスロータリークラブ

事務所 : 〒590-0021 堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-18
TEL : 072-233-3360
FAX : 072-233-3361
Eメール : info@sakaiflower.com
HP : http://www.sakaiflower.com

例会場 : コンフォートホテル堺 堺市堺区竜神町1-5-1
例会場 : 072-233-7111
例会日 : 土曜日 10:30~11:30 (ビジターフィ¥1,000)



会長
堀本 欣吾



幹事
但見 淳



ガバナー特別代表
堺RC 山田 義夫



PHF・ベネファクター(9月分)



お名前	回数	クラブ名
坊岡 進	F	有田南
山下 正晃	3	有田南
塩路 信兼	3	有田南
田村 寿朗	3	羽曳野
藤原 重行	BE	泉大津
阿久根 紀男	BE	河内長野東
四宮 章夫	3	河内長野東
楠 公延	20	高野山
藤田 光寛	4	高野山

お名前	回数	クラブ名
堤 淳	3	堺
田端 千鶴子	BE	堺
三谷 昌平	BE	田辺
盛 祐證	1	富田林南
松本 昌親	2	富田林南
後和 信英	BE	和歌山アゼリア
石橋 瑳禧子	1	和歌山アゼリア
辻 曙生	4	和歌山アゼリア
森本 芳宣	BE	和歌山北
森本 芳宣	1	和歌山北

米山功労者(9月分)



お名前	回数	クラブ名
森本 好典	5	有田南
大崎 敏明	1	有田南
山本 正明	7	羽曳野
楠 公延	49	高野山
藤田 光寛	5	高野山
山田 周作	9	堺西
有田 桂治	4	新宮
三谷 昌平	4	田辺
樫木 秀行	3	田辺はまゆう
谷峯 正美	4	田辺東
坂部 美智子	3	和歌山アゼリア
森本 芳宣	4	和歌山北
藤田 武弘	1	和歌山南

11月号、お届けいたします。

ロータリーの友事務所では平成23年6月末現在で20代のロータリアンの特集(掲載方法掲載月未定)を検討しております。又、『ロータリーの友』掲載のシリーズ「この人、この仕事」欄にふさわしい方をご推薦ください。情報をお待ちしております。岡本まで。2011-12年度表紙写真募集(2011年4月30日締切)要項が横組み47ページ、縦組み6ページに掲載されています。ぜひご応募を。

ロータリーの友編集委員会 地区代表委員 岡本勝士

地区関連の記事

- ① 卓話の泉 『カタカナの日本語』(堺南RC 忠岡 清) 縦組み P10
カタカナ、意味も知らずに知ったかぶり、人にも聞けず悩みますね。
- ② 俳壇——縦組み P12
金魚掬ひおまけの二匹掬はるる (御坊RC 橋本順子)
- ③ 柳壇—— 縦組み P12
パリジェヌヌようこそ熊野諸手挙げ (新宮RC 塩崎公治)
オニヤンマ地面すれすれああ夢か (堺RC 大澤徳平)
- ④ バナー自慢 堺RCバナー —— 縦組みP16
御坊南RCバナー ——縦組みP17
- ⑤ ロータリー アットワーク
子宮頸がんを知る市民講座 —— 堺RC 縦組みP24
本場の音楽を堪能 —— 泉佐野RC 縦組みP25
- ⑥ インターアクトに聞きました P20~28
高野山高校IAC ——はさみ1本、切手1枚の国際協力、ありがとう
- ⑥ 例会・曜日・時間変更
和泉南RC 第2・4週 木曜日 18:30

横組み記事

① RI会長メッセージ 『アフリカ支援』(レイ・クリンギンスミスRI会長) P1

ロータリーの親善奨学生としてケープタウン大学で学ばれたクリンギンスミス会長は、「奨学生としての経験をアフリカのために」と考えられ、世界中のロータリアンがアフリカの現状に関心をもつよう望まれています。そして、アフリカのロータリーを『より大きく、豊かで、大胆に』するために、そしてアフリカのロータリー財団奨学生の輪をつくり上げるため、私に力を貸してください」と呼び掛けられています。

② 特集 ロータリー財団月間 P5～19

『ロータリー財団「未来の夢計画」とは』(2009-10年度ロータリー財団地域コーディネーター(第1ゾーン)2010-11年度ロータリー・コーディネーター補佐(第1ゾーン) 北 清治(浦和東RC))

2013-14年度から始まる『未来の夢計画』必ずお読みください。財団寄付、活動計画の策定本年度の活動が大切なことご理解いただけると幸いです。

③ 特集 世界インターアクト週間 P20～28

中学校にIAC誕生 P23

④ いま、世界は 『バルカンの火薬庫から音楽の咲き乱れる半島へ』 P30～31

バルカン室内管弦楽団音楽監督 柳澤 寿男

⑤ ロータリアンのためのソーシャルメディア入門 P37～44

⑥ 田中作次氏(八潮RC) 2012-13年度RI会長に P45

縦組み記事

① SPEECH 『共存共鳴 ドイツと日本の違うところ』P2～6

桐朋学園大学音楽学部教授 木村 俊光

② この人、この仕事

機能的でおしゃれなステッキを使ってもらいたい (東京中野RC 山田澄代) P7～9

「顧客の笑顔が弊社のもうけ」澄代社長のお言葉。

③ 言いたい 聞きたい P14-15

会員増強に秘策はあるか (大阪北RC 森 禎良)

④ 友愛の広場 P18～21

ロータリーの存在理由を求めて (美祿RC 末永輝清)

⑤ ロータリー アットワーク P22～32

多くの活動報告が掲載されています。我々のクラブも積極的に投稿を

ハイライトよねやま 128

1 寄付金速報 — 米山月間へご協力ください —

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.0%増、約1,380万円の増加となりました。普通寄付金が2.3%減、特別寄付金が13.7%増と、これまで比較的好調に推移していましたが、米山月間である10月前半の寄付実績はここ数年の中で最も低く、厳しい出足となっています。

10月から12月までの3カ月間は、1年間の特別寄付金の約半分をご送金いただいている重要な時期です。各クラブにお届けしている月間用資料をご活用いただき、当会事業への理解を少しでも深めていただくよう、広報活動へのご協力をよろしく申し上げます。

2 GETSで米山記念奨学事業を紹介

9月8日に東京都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナーで、板橋敏雄理事長と坂下事務局長が各20分間、米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、配偶者プログラムでは、米山学友の駿^{スルタニ}溪トロペカイさん(アフガニスタン/1981-83/小山RC・土浦RC)と楊錦華さん(中国/2002-05/東京日本橋RC)がスピーチを行いました。



駿溪さん(左)と楊さん

『ロータリーの友』6月号の“よねやまだより”でも紹介した駿溪さんは、アフガニスタンの首都カブールに教育・職業訓練のための「希望の学校」を設立し、母国の女性たちの自立を支援している活動を報告。また、東京米山友愛RCの初代会長を務める楊さんは、カウンセラーとの絆や、学友仲間らとともに新クラブ設立を目指した経緯や今後の抱負を語りました。2人の報告に、会場からは惜しみない拍手が送られ、「感謝や恩返しといった言葉が聞かれなくなったこのご時世に、留学生だったお二人から、恩返しの言葉と行動を聞かせてもらい、感動した」などの感想が聞かれました。

3 10月は米山月間です！

米山奨学事業を1人でも多くのロータリアンにご理解いただくためには、**奨学生・学友の声**を直接お聞きいただくことが一番ですが、そのほかにも下記の資料をお使いいただけます。

- ① **映像で！** → ホームページから視聴できます。ご要望があればDVDをお送りします
 - 駐日韓国大使として活躍する米山学友、権哲賢氏特別インタビュー (14分)
 - 学友の活躍を紹介「心つないで、世界へ」 (15分)
 - 事業概要「すばらしい贈り物」 (22分) ほか

② パワーポイントでプレゼン！

→ ホームページからダウンロードできます。説明者用メモ付き。

③ 新ポスター

→ ガバナー事務所宛てに送付。在庫ある限りクラブからも注文可能

④ 新バナースタンド → 巻き取り式でコンパクト収納。8,000円。

注文から1週間ほどで納品できます。

また、『ロータリーの友』10月号“よねやまだより”では、米山月間特集として、7月に上海で開催された「中国学友会総会・懇親会」の報告記事のほか、学友の活躍紹介、地区別寄付状況などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



2010年度ポスター

4 台湾学友会の日本人支援奨学金、第2期生決定

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民國扶輪米山会）が日本のロータリーへの恩返しとして始めた「日本人若手研究者奨学金」は今年2年目に入り、9月から新しい奨学生を迎えました。

第2期奨学生に選ばれたのは、国立台湾師範大学大学院に留学中で、中国語教育を専攻する笹川優子さんです。笹川さんには1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドルが支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



許理事長から奨学金を授与される笹川さん(右)

9月25日、台湾学友会の許國文理事長（第3490地区バストガバナー）から奨学金を授与された笹川さんは、奨学生に選ばれた気持ちを次のように語ってくれました。「私が日本の大学に在学中の頃、台湾、中国などから来た多くの留学生の友人がロータリー米山記念奨学金の支援を受け勉学に励んでいたのが深く印象に残っています。今回、私も扶輪米山会奨学生として皆さまに温かく迎えていただき、とても感謝しています。台湾での長い留学生活は充実と困難の連続ですが、今年は奨学生としての自覚を持ち、

これまで以上に勉学・研究に力を注いでいきたいです。これからの1年間、扶輪米山会の皆さまとの交流を通じて、台湾と日本の発展に貢献していきたいと思えます」

5 日中関係の悪化に奨学生・学友たちは……

尖閣諸島沖の中国漁船衝突事故をきっかけに、日中関係の悪化が報じられています。この事態に胸を痛める中国出身の米山奨学生・学友たちの声を紹介します。

5年前に反日デモが問題になったとき、新聞への投書で「留学生として日本の素晴らしい一面を中国人に伝えていきたい」と語った湯伊心さん（2005-07 / 横浜ベイRC）は、「中国は世界の人々から敬遠される国ではなく、愛される国になって欲しい。ロータリアンから学んだ草の根交流は、たとえ国家間に亀裂が生じようとも決して影響を受けません。私たち米山奨学生・学友は、ロータリアンとの関わりを通じて、何か行動することができるはず」と、語ります。

先日、第2800地区（山形県）の地区大会で特別講演を行った張旭梅さん（2005-06 / 東京広尾RC）は当日を振り返って、「こんな時期に、中国人学友である私の話など聞いてくれるのだろうか…と不安でした。話し終わった後、“中国のことを嫌わないでください！私は中日友好を心から願っています”という思いで胸がいっぱいになりました」と、言います。張さんの講演を聞いた多くのロータリアンが涙を流し、会場にいた中国出身の米山奨学生たちも立ち上がって拍手を送ったそうです。



第2800地区大会で語る張さん

現役奨学生も複雑な気持ちで例会に参加しています。金静海さん（2010-11 / 横浜瀬谷RC）は、「肩身の狭い思いで座っていたら、世話クラブの皆さんが“国同士の出来事は金さんとは関係がないのだから心配しないで大丈夫”と、普段と変わらぬ温かさで励ましてくれ、どれほど気持ちが救われたかわかりません」と、嬉しい体験を話してくれました。

重要なお知らせ

普通寄付金についての確定申告用領収書の申請期限は 2010年10月31日（日） です。ご希望のクラブはお早めに申請くださいますようお願いいたします。詳細は当会ホームページをご覧ください。



記事〉
 毎日新聞朝刊
 大阪南版／平成22年10月19日
 和歌山版／10月26日

米山奨学金を受けた留学生
「感恩の心」を披露

中国・上海

国際ロータリー第2640地区（和歌山全県と大阪の泉州・南河内地域）の米山奨学金を受けた現旧留学生たちによる米山学友会上海シンポジウムが、中国・上海で初めて開かれ、約100人が参加した。

モンゴル、ネパール、ベトナム、韓国など現役奨学生26人も参加。「21世紀における留学生の役割」をテーマに、3部に分けて行われた。米田真理子ガバナーが冒頭あいさつで、「民間外交として世界に平和の種子をまく。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける奉仕活動です」と、奨学事業の趣旨を説明した。

第2部のパネルディスカッションには、多くの奨学生を受け入れている大阪府立大の寺迫正廣副学長などが出演。「米山奨学生からの採用者は優秀な若者が多い」「送金が母国の混乱でストップされ

た時、米山に助けられた」「学業専念も大事だが、学校で習えない言葉や経験をアルバイ



シンポジウムで手話の歌「感恩の心」を披露する米山奨学生たち
 —中国・上海で

トによって学べる」などの意見が出た。

アトラクションで民族芸能が披露されたほか、世話になった人への感謝を表す手話の歌「感恩の心」が、現役奨学生たちによって「全員合唱」された。

米山記念奨学会は、日本ロータリーの父とされる故米山梅吉氏の功績をたたえて創設。奨学金を交付するだけでなく、世話クラブを指定して、そのメンバーが奨学生のカウンセラーとして多様な面から学業を支援している。

【嶋谷泰典】

広告〉
 毎日新聞朝刊 半2段
 大阪南版／平成22年10月16日
 和歌山版／10月16日

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ



地域を育み、大陸をつなぐ

**ロータリーは、
 海外からの学生を
 支援しています。**

▶ お問い合わせは、下記まで ◀

RI 第2640地区（大阪南部・和歌山）ガバナー **米田 真理子**
 2010～2011年度 **ガバナー-事務所** 〒590-0021 大阪府堺市堺区北三ツ目5丁目1番16C棟14号
 TEL.072-224-2640 FAX.072-224-2650
 (HP) <http://www.rid2640g.org> (e-mail) info@rid2640yoneda-g.org





「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

- ◎「ロータリーの本質は職業奉仕の実践にあり」 上野 操 2010 1p
(D.2580月信)
- ◎「職業奉仕のいろは」 深川純一 2010 16p (職業奉仕のすすめ)
- ◎「東洋の実業倫理とロータリーの職業奉仕」 安平和彦 2010 21p
(職業奉仕のすすめ)
- ◎「近江商人について」 塚崎 純 他 2010 3p (職業奉仕のすすめ)
- ◎「石門心学とロータリー」 石田二郎 他 2010 6p
(D.2680地区大会記録誌)
- ◎「回首原点-ロータリーで元気になろう」 佐古亮尊 2010 10p
(D.2500地区大会報告書)
- ◎「今・改めてロータリーを見直す」 森田 均 2010 10p
- ◎「〔決議23-34〕はロータリアンの『金科玉条』なり」 古川隆三 2010 1p (D.2650月信)
- ◎「ロータリー簡単図解その8〈解り易い職業奉仕〉」 鈴木章夫 2010 1p (D.2520月信)

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時

休館=土・日・祝祭日

独自の活動で地域におけるクラブの存在感を高める



米国ルイジアナ州のグレーター・レイクス・チャールズ・ロータリー・クラブは、毎年、地元大学への奨学金とロータリー財団のための募金を目的としたオークションを実施しています。過去20年間にわたり、このオークションは、地元地域においてクラブの存在を象徴する活動となってきました。

米国ニューヨーク市では、マローン・ロータリー・クラブがスパゲッティのディナーを企画することで有名です。「毎年、大勢の人が集まり、食材もスポンサーからたくさん寄贈していただいています」と話すのは、同クラブ会員のマーサ・ウィーバーさんです。「好評のため、スパゲッティのソースが足りなくなってしまったことも、何回かありますよ」

一方、インドのカル Катタ・アップタウン・ロータリー・クラブでは、ロータリー財団のマッチング・グラントを利用して、地元ベンガル地方の農村部で眼科医療の提供、青少年のためのコンピューターセンターの設立、衛生設備の改善などを行うのが、代表的な活動となっています。

このように、地域社会で人々の目に留まるような独自の活動を行うことによって、RI長期計画の優先項目の一つである公共イメージとロータリーの認知度を高めることができます。クラブの代表的な活動を紹介し、ロータリアンからの意見を集めるため、最近、LinkedINの国際ロータリーの公式ページにおいて、トーマス・ソーフィンソンRI副会長が中心となり、ディスカッションが繰り広げられました。



今後数週間、これ以外にもRI理事による進行の下、RI長期計画を支援するためにクラブが行っている活動を紹介するディスカッションが行われる予定となっています。ディスカッションにぜひご参加ください。

「ロータリアンを対象とした調査の結果、自分たちが行っている有意義な活動を多くの人に知ってもらいたいと望むロータリアンが大勢いることが明らかになりました。クラブが独自に実施している代表的な活動やプロジェクトを紹介することによって、多くの人々にロータリーを知ってもらえるでしょう」

英国のクロイドン・サウス・ロータリー・クラブに所属するマーク・メイヤーズさんがLinkedINに投稿したメッセージによると、彼のクラブでは、クリスマスにチャリティーの寄贈物資を集めるのが代表的な活動となっているそうです。「クリスマスキャロルの音楽を拡声装置で流しながら、ソリを載せたトレーラーで回ります。サンタクロースが出てきて挨拶をし、その間に会員たちが近所を回って寄贈品を集めます」

また、米国オハイオ州のストロングビル・ロータリー・クラブは、氷と雪に包まれた真冬のゴルフコースでゴルフをするのが目玉行事であると、同クラブ会員のジョセフ・ズリラさんは言います。インドでは、デリー・バサント・バレー・ロータリー・クラブが献血キャンプを通じてロータリーの知名度向上に努めているそうです。

このほかにも、米国バージニア州のチャーチランド・ポーツマス・ロータリー・クラブとポーツマス・ロータリー・クラブは、食べ物、飲み物、エンターテイメントが盛りだくさんのバーベキュー大会を開催し、ネットワークづくりを行っています。チャーチランド・ポーツマス・クラブのビル・ボラードさんによると、この行事におよそ3千人が参加し、地元のプロジェクトとプログラム支援のために、それぞれのクラブが1万ドルの純益を上げたということです。

補助金の受領者が ロータリアンの惜しみない支援に感謝



5歳になるムラムブジ・ジョシュアちゃんは、先天性心臓欠陥を治療する手術を受けられたことに感謝しています。

この手術は、ウガンダの子どもたちを対象に1月に行われた20件の手術の一つで、「ギフト・オブ・ライフ・インディア」を通じて授与されたロータリー財団のマッチング・グラントによって実現したものです。

元ロータリー平和フェローであるジネット・クロエスさんは、財団の平和と紛争解決への取り組みに寄せられた惜しみない寄付に、心から感謝しています。

「中でも、現場で平和の構築に尽力する多くの人たちを目の当たりにするさまざまな機会してくださった世界中のロータリアンに感謝しています」とクロエスさん。「ロータリアンの皆さまのネットワークは、本当に国連に引けを取らないものだと思います」

マリアナ・ボンセさんは、ホンジュラスのロータリアンの寄付で運営されているマイクロクレジット（小口融資）プログラムからの融資のおかげで、テグシガルパにある自宅で、小さな事業を始めることができたことに感謝しています。ボンセさんは、現在、大豆製品を売ることで、地元の病院で洗濯をして得ている収入を補っています。

ロータリー財団は毎年、このような、6つの重点分野にあてはまる何千件ものプロジェクトに資金提供しています：

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

「毎年あなたも100ドルを」推進計画を通じての、皆さまの惜しみないご支援は、「地域を育み、大陸をつなぐ」ことで、私たちが目指すよりよい世界を、少しずつ実現しているのです。寄付にご協力ください。



友愛の木

20世紀の初め以来、親睦、友愛、社会奉仕の名の下に、ロータリアンによって多くの木が植えられてきました。ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、1920年代から1930年代にかけて世界中を旅行し、親善と友愛の象徴として各地で植樹を行いました。

地区内ロータリークラブの推薦による。

派遣予定期間

2011年4月16日～5月14日

受付期間

2010年10月20日～11月末日締切

提出書類

候補者の履歴書(市販の物)と顔写真1枚

提出先

RI第2640地区 2010-2011年度ガバナー事務所

住所:〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-14

TEL:072-224-2640 FAX:072-224-2650

候補者の資格要件

1. 日本国籍を持ち、地区内に住所または、勤務先を有すること
2. 団体行動による長期の海外旅行に充分耐えられる健康体であること
3. 25歳以上40歳以下で2年以上現在の仕事に就いていること
4. 職場の推薦を得られること
5. 家庭の承諾を得られること
6. ロータリアンの2親等以内の親族でないこと
7. 出発前研修(土・日・祝日を利用して8日間程度)に自費出席できること

選考試験(詳細は、応募者と推薦クラブに追って通知する)



会員

1,300名

地区内PDG・DG・DGE配偶者他

30名

地区外PDG・DG配偶者他

30名

ロータリーファミリー

180名

合計 1,540名

地区大会記念ゴルフ大会開催 御 礼

10月18日(月曜日)、秋晴れのもと、天野山カントリークラブ(堺市36ホール)で過去最多の参加者270名で挙行いたしました。富田林RC藤野会員の南コース5番ホールでのホールインワンは地区大会記念ゴルフコンペ史上記録となるもので大いに盛り上げていただきました。

例年に無い、新しい表彰式・懇親会企画で、遠路からご参加のロータリアンの皆様に待ち時間が少ないように工夫し、前半150名、後半120名、二回に分けて懇親会、表彰式を開催させていただきました。100%に近い方が最後まで、懇親会・表彰式にお残り下さり友愛を深めていただきました。心より御礼申し上げます。

表彰式は豪華商品多数で大いに盛り上がりました。優勝～20位 飛び賞、賞に入れ無かった方からの抽選、最後にガバナー賞「46型最新液晶TVアクオス」、前半・後半表彰式に各一台ずつ米田眞理子ガバナーからの抽選で盛りあがりました。

実施にあたり、多数のロータリアン参加者、実行委員会、天野山カントリークラブ、協賛企業のご協力に心より感謝申し上げます。

国際ロータリー第2640地区
地区大会記念ゴルフ大会 実行委員長 三村 文男
(堺フェニックスRC)





10月1日 泉大津RC 公式訪問



10月7日 海南西RC 公式訪問



10月3日 堺北RC 25周年行事



10月10日 上海シンポジウム



10月5日 和歌山サンライズRC 公式訪問



10月12日 御坊南RC 公式訪問



10月7日 岩出RC 公式訪問



10月14日 堺RC 堺西RC 公式訪問



10月14日 堺東南RC 公式訪問



10月21日 堺フェニックスRC 公式訪問
(堺13RC交流会)



10月15日河内長野RC 会長幹事懇談会



10月23日 和歌山中RC 25周年行事



10月15日 河内長野RC公式訪問



10月23日 RID.3720GSEメンバー歓迎会



10月20日 堺中RC 公式訪問

2010-2011年度年間行事予定表

11月 ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month)		
1日	(月)	
2日	(火)	
3日	(水)	インターアクト国際交流親睦会 羽衣学園 (高石RC)
4日	(木)	
5日	(金)	
6日	(土)	地区大会
7日	(日)	地区大会
8日	(月)	
9日	(火)	
10日	(水)	
11日	(木)	
12日	(金)	
13日	(土)	ロータリー財団委員会 第2回奨学生オリエンテーション
14日	(日)	岩出RC創立25周年記念例会 青少年交換委員会 2011~12年度長期派遣学生申請書記入指導会 (保護者同伴)
15日	(月)	
16日	(火)	
17日	(水)	
18日	(木)	
19日	(金)	
20日	(土)	I M2組 御坊南RC 韓国3720地区GSE (さよならパーティ)
21日	(日)	韓国3720地区GSE見送り インターアクト海外研修オリエンテーション 初芝富田林高校(富田林RC)
22日	(月)	
23日	(火)	
24日	(水)	ロータリー財団地域セミナー (第2回)
25日	(木)	ガバナー・エレクト研修セミナー(第2回GETS)他
26日	(金)	ロータリー研究会
27日	(土)	↓
28日	(日)	
29日	(月)	
30日	(火)	

全日空ゲートタワーホテル大阪

国際障害者交流センター
ビック・アイ (堺市)

テクスピア大阪

ホテルいとう
テクスピア大阪

御坊商工会館
関西国際空港

関西国際空港

大阪国際会議場

大阪国際会議場と
リーガロイヤルホテル大阪

大阪国際会議場と
リーガロイヤルホテル大阪

2010年8月 出席報告

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	9月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	9月 出席率	平均 出席率
	10.7.1	9月末	9月	累計	9月	累計					10.7.1	9月末	9月	累計	9月	累計			
有 田	37	39	2	2	0	0	4	94.29	93.26	大 阪 金 剛	28	30	1	2	0	0	4	87.50	84.70
有 田 南	31	33	0	2	0	0	4	97.60	97.56	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	4	95.00	95.00
有 田 2000	15	15	0	0	0	0	5	86.67	90.56	りんくう泉佐野	26	27	0	1	0	0	4	78.29	79.11
藤井寺しゅら	14	14	0	1	0	0	4	87.30	87.10	堺	73	74	1	1	0	0	4	90.42	88.05
御 坊	52	52	0	0	0	0	5	81.91	83.07	堺 東	35	35	0	0	0	0	4	97.04	96.00
御 坊 東	15	15	0	0	0	0	5	89.33	87.37	堺 北 西 南 西	19	19	0	0	0	0	4	83.32	84.71
御 坊 南	23	26	1	3	0	0	4	81.67	86.46	堺 泉 ケ 丘	20	21	0	1	0	0	4	94.05	92.86
羽 曳 野	14	14	0	0	0	0	5	92.54	93.69	堺 北	30	35	1	5	0	0	3	85.41	87.07
羽 衣	17	15	0	0	1	2	4	85.26	90.46	堺 南	27	27	0	0	0	0	3	84.00	83.73
阪 南	13	13	0	0	0	0	5	96.92	98.97	堺 中	17	18	1	1	0	0	5	75.70	76.35
橋 本	53	52	0	1	1	2	4	92.25	93.10	堺 西	18	18	0	0	0	0	4	93.06	91.86
橋本紀ノ川	17	16	0	0	0	1	4	89.06	89.84	堺おおいずみ	33	33	0	0	0	0	5	82.42	83.58
岩 出	27	27	0	0	0	0	4	94.45	93.63	堺フェニックス	32	34	1	3	0	1	4	97.41	97.56
和 泉	35	34	0	0	0	1	5	82.96	81.79	堺 清 陵	18	20	0	2	0	0	4	90.79	85.65
和 泉 南	26	26	0	0	0	0	4	55.77	59.40	堺 東 南	11	11	0	0	0	0	4	97.73	98.58
泉 大 津	49	52	1	3	0	0	4	85.64	85.73	泉 南	17	17	0	0	0	0	4	81.25	81.25
泉 佐 野	35	35	0	1	0	0	4	93.34	93.85	新 宮	60	62	0	2	0	0	5	77.42	79.27
海 南	41	41	0	1	1	1	4	74.36	78.03	白 浜	14	14	0	0	0	0	4	94.23	96.58
海 南 東	68	68	0	0	0	0	3	82.35	81.13	太 子	14	14	0	0	0	0	3	71.40	73.30
海 南 西	20	20	0	0	0	0	4	87.50	86.11	高 石	25	27	1	2	0	0	4	80.61	75.71
貝 塚	19	19	0	0	0	0	4	97.22	93.06	高 師 浜	18	18	0	0	0	0	4	89.43	82.88
貝塚コスモス	20	19	0	0	0	1	4	93.42	93.04	田 辺	89	88	0	0	0	1	4	86.38	87.59
関西国際空港	19	25	0	6	0	0	4	73.00	71.14	田 辺 は ま ゆ う	33	34	0	1	0	0	4	90.45	89.55
河 内 長 野	34	34	0	1	1	1	4	83.13	86.10	田 辺 東	51	52	0	1	0	0	5	86.00	86.05
河 内 長 野 東	28	28	0	0	0	0	4	91.00	92.80	富 田 林	34	36	0	2	0	0	4	81.98	86.03
岸 和 田	39	37	0	0	1	2	5	93.39	93.68	富 田 林 南	18	18	0	0	0	0	4	86.49	86.18
岸 和 田 東	52	53	0	1	0	0	3	93.71	94.08	和 歌 山	65	67	2	2	0	0	4	87.06	85.12
岸 和 田 北	17	17	0	0	0	0	3	100.00	100.00	和歌山アゼリア	44	44	0	0	0	0	3	79.54	82.95
岸 和 田 南	21	21	0	0	0	0	4	90.00	88.41	和 歌 山 東	49	49	0	0	0	0	4	91.05	92.56
粉 河	22	22	0	0	0	0	5	100.00	100.00	和 歌 山 城 南	37	38	0	1	0	0	4	88.49	90.70
高 野 山	23	23	0	0	0	0	4	98.75	97.47	和 歌 山 北	50	50	0	0	0	0	3	81.91	81.56
串 本	13	13	0	0	0	0	4	71.15	73.07	和 歌 山 南	89	94	3	5	0	0	4	88.65	89.16
松 原	32	33	0	1	0	0	4	83.53	85.98	和 歌 山 中	28	29	0	1	0	0	4	87.06	91.17
松 原 中	19	19	0	0	0	0	4	81.71	83.87	和 歌 山 西	20	23	0	3	0	0	5	91.82	93.16
美 原	23	23	0	0	0	0	4	89.20	90.00	和 歌 山 東 南	46	50	0	4	0	0	5	90.04	88.86
那 智 勝 浦	19	19	0	0	0	0	4	76.39	75.83	和歌山サンライズ	25	26	0	1	0	0	4	99.00	99.00

クラブ	7月1日クラブ会員数				9月末クラブ会員数				9月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2066	女性	154	男性	2109	女性	160		9月	累計	9月	累計
72	2220				2269				87.35	15	64	5	13

※2010年6月末 会員数2,218名



2010-2011年度ガバナー事務所

〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁1番16 C棟14号
ガバナー事務所 (7月1日より)

TEL : 072-224-2640

FAX : 072-224-2650

E-mail : info@rid2640yoneda-g.org

HPアドレス : <http://www.rid2640g.org> (継続)